

## 岩手県野田村の支援・交流活動報告（2016年4月16日）

2016年度の初めての活動日は前日とはうってかわって素晴らしい晴天でのもと、弘前を出発しました。本日の活動は、はじめての試みとなる野田村の市日（朝市）でのコミュニティ茶屋とプレーパーク、棒パンづくりでした。はじめての市日の参加でいろいろと不安もありましたが、不安以上にわくわくする期待感が大きかったです。参加者は、一般市民18名、学生17名、教員1名で、全部で36名でした。おなじみの市民参加者も、初めての学生や一般市民参加者もおられ、継続的な活動で活動の裾の輪が広がっていることを感じました。



おりつめて集合写真



茶話会の様子

バスの中では、簡単な自己紹介と本日の活動に対する息込みの一言がありました。中には、昨晚はわくわくして一睡も出来なかったという声もあり、楽しい車中でした。今までより1時間早く出発したので、野田村には9時過ぎに到着しました。すでに朝市は始まっており、村民の方が三々五々買い物をしながら往来していました。

テントを張って、コミュニティ茶屋をオープンするとおなじみの村民の方が一人二人と集まってくれました。あっという間に、準備した椅子が足りなくなり、野田村の社協から急ぎで椅子を借りることになりました。また、プレーパークにも開店と同時に、多くの子どもたちが集まってきて、あっという間ににぎやかになりました。

コミュニティ茶屋では、顔なじみの野田村の村民の方とボランティアの市民や学生がご家族の話や最近の身の回りの話などなど、話の花を咲かせていました。また、にぎやかな



プレーパークの様子

茶屋の様子をみて、お買い物に来た村民の方も遊びに来てくれました。

プレーパークでは、就学前の児童から小学校高学年まで多くの子どもたちが遊びに来てくれました。プレーパークで用意したゲームやかくれんぼなど、元気いっぱい遊んでいました。11時頃からは、みんなで棒パン作りをしました。長い竹の棒にパンの生地をまいて、炭火で焼く棒パン作りは子どもたちに大人気で、準備していた生地が足りなくなるぐらいでした。炭火でパンを焼く子どもたちの真剣な顔がとっても印象的でした。



棒パン作りの様子

コミュニティ茶屋とプレーパークは正午過ぎに終了し、午後からはお片づけのチームと野田村の社会福祉協議会から依頼があった引越し後の仮説住宅の清掃作業に分かれて活動を行いました。すべての活動は14時30分に終了し、いつもより少し早めに野田村を後にしました。

帰りのバスの感想では、「とっても楽しかった」「いろいろと不安もあったけれど、多くの野

田村の方が来てくれてうれしかった」「棒パン作りがとっても楽しかった」などの感想と、「ブルーシートなどの準備や椅子が足りなかった」「お湯をなんとかしてほしい」など沢山の反省点のご指摘もありました。

はじめてのことで準備不足な面も多々ありましたが、多くの子どもや村民の方が来てくださったので、大変楽しく充実した一日でした。また、「このような茶屋がほしかった」、「おかげさまで久しぶりににぎやかな市日」だったという村民の声もあり、開催してよかったとしみじみと思いました。大変楽しく、笑顔いっぱい的一天でした。

(担当: 李永俊)